

調布市薬剤師会 令和6年度10月理事会

日 時：令和6年10月17日（木） 午後8時～9時30分

場 所：調布市薬剤師会事務所及びZoom ハイブリッド形式

参加者：石川・飯島・平山・浅見・三井・原・古澤・林・田子・布瀬川・臼木・事務局西原

—令和6年10月理事会議題—

≪連盟の時間≫（石川）

➤ 9/20 連盟ブロック会議（第8ブロック会議のこと）

⇒ 本田あきこサポーター登録者の更なる増加が目標。

目標人数は東京都全体で2万名、調布市目標は342名（現在154名、達成率45%）

当初は10月に再度個別薬局訪問を実施予定だったが、衆議院選挙のためいったん中断し

た。選挙後に活動再開予定。調布市は9月に17人増加。8/30仙川地区薬局訪問の結果がでた。

➤ 10/3（金） 都議懇談会（石川/布瀬川）京王プラザホテル

⇒ 布瀬川先生、石川先生参加。肝心の林都議が衆議院選挙の関係で乾杯のみで中座となったが、初参加の布瀬川先生は近隣薬剤師連盟の役員と顔見知りになれて良い機会であった。

➤ 10/8（火） 伊藤達也氏国政報告会 たづくり12F大会議室

⇒ 衆議院解散前日の開催となったため、選挙必勝を掲げて会場は超満員の大盛況であった。

自民党の裏金問題や統一教会問題など、自民党には厳しい戦いとなることが予想される。

➤ 10/14（月） 林あきひろ氏都政報告会 たづくり12F大会議室

⇒ 都議選は来年の7月頃。参議院選挙と同じころ実施予定。

➤ 10/27（日） 第50回衆議院議員総選挙

⇒ 調布市薬剤師連盟は東京22区の自民党推薦伊藤達也候補を推薦している。今回から選挙

区の区割り変更があった。伊藤氏への推薦状は今週末に選挙事務所へ都薬連盟幹部とともに訪問してお渡しする。

➤ 11/10（日） なでしこフォーラム ホテルニューオータニ

⇒ 5人分1万円のチケットを購入済み。出勤費も出るので女性の方に参加をお願いしたい。

≪報告事項≫

1. 会長会報告（石川）

⇒ （高橋会長の話）10月開始の選定療養は、労災と公害医療が対象なのか直前まで不明だったが、9/30に対象だとの連絡が入った。もう少し早く周知してほしい。

⇒ （高橋会長の話）オーバードーズが問題となっているので、学校から講習の依頼があれば学校薬剤師は積極的に引き受けてほしい。薬剤師の地位向上にもつながるので頑張ってもらいたい。

⇒ アルソックの安否確認。今年から全会員の登録をすることになった。費用は全額都薬負担で地区薬の負担はない。具体的な話はこれからの予定。

2. 薬事衛生自治指導（原）

➤ 各指導員の担当薬局割り振り決定

⇒ line ワークス掲載 担当者へ周知

⇒ 新自治指導員林先生・臼木先生

➤ 提出期限

⇒ CPA 提出 11/15（金）〆切、都薬提出 11/22（金）〆切

3. 小児休日診療調剤業務（布瀬川／臼木）

➤ 10/11（金）令和6年12月～令和7年1月勤務薬剤師の募集 2名体制

⇒ 来週決定予定

➤ 進捗状況

- ⇒ おむつかぶれに用いる亜鉛華軟膏の採用希望がドクターから出ている。同薬は流通不安定であり、また開封後の酸化による劣化がみられるため、使用頻度が低いのであればアズノール軟膏に変更できないか問い合わせ中。
- ⇒ 最近、緊急性のない患者が増えている。休日当番のうちにドクターのお墨付きをもらって翌日から登園・登校希望の患者が増えているような気がする。本来の小児休日調剤の役割とは少しずれた使い方になってきているのではないか。電話予約の時に選定できないのか。
- ⇒ 10/14 に分包機が急停止した。1 時間クールダウンした後、再起動したら直った。念のため 10/21 にユヤマの担当者が点検に来てもらえることになった。このようなこともあるので、緊急時を想定した BCP マニュアルの作成が必要だと感じた。

4. 新医療ステーション（布瀬川／臼木）

➤ 進捗状況

- ⇒ 10 月末に新医療ステーションの委員会が発足する予定。詳細な日程は未定。
- ⇒ 現在、メールで図面確認をしているが、動線に疑問がある。院内・院外薬局での法律がよくわからず、保健所確認中。

➤ 10/8（火） 健康推進課との会議 参加者：布瀬川、臼木、石川

➤ 10/21（月） 三師会冒頭で健康推進会より進捗報告

5. 学生受け入れ（飯島）

➤ 学生実習進捗状況

- ⇒ 若干の不安がある。理解に時間がかかり、反応が薄いので最後までいけるのか…。

今後の予定は、10/19 漢方製剤、10/21 OTC 総論、11/7 期末ミーティング。

- ⇒ 製薬会社に紹介してもらった災害事業の内容がよかったので、今期から採用している。

- ⇒ ミネ薬局から、2026 年から学生受け入れを行いたいとの申し出があった。

⇒ 集合研修のやり方を模索中。担当理事だけが対応するのは負担が重いので、受け入れ薬局にもお手伝い願えないか、話しをしていく予定。高安先生からは午前中であれば手伝い可能とのお話をいただいた。

➤ 11/16（土）令和 6 年度 薬局実務実習受入のためのエリア担当者会議

⇒ 古澤先生・飯島先生参加予定。

6. 防災（田子）

➤ 10/14（月）調布市防災訓練 参加者：田子、石川

⇒ 味の素スタジアム外で震災を想定したシナリオに基づく発災対応型訓練が実施された。自衛隊および消防団が建物内での傷病者 15 人を搬送し、その後医師会、歯科医師会がトリアージ、柔道整復師会が止血等の応急処置、CPA は投薬と服薬指導を行った。

➤ 10/15（火）緊急医療救護所訓練等の打合せ Zoom 参加者：田子、石川

⇒ 最初に、調布市・狛江市・慈恵第三病院、調布と狛江の各三師会で各団体運営マニュアルおよび 11/23 訓練の事前準備について確認した。次に調布市と調布市の三師会だけで 11 月、来年 2 月の多摩川病院緊急医療救護所訓練についての打合せを行った。CPA も訓練に参加するので今後参加者の募集案内を行う。両病院に参集予定の薬局の薬剤師には、ぜひ参加をお願いしたい。災害時、各病院設置の緊急医療救護所ごとに、参集する薬局を区分けして会員に周知する予定。防災対策マニュアルは作成中。各会員には参集場所の周知を徹底したい。

⇒ 昨年まではコロナ禍だったので縮小して訓練を行っていたが、今年からフルスペックとなる。過去の訓練写真を見せながら石川先生が訓練の概要を説明した。（石川）

➤ 11/23（土） 慈恵第三病院緊急医療救護所訓練

7. 薬と健康の週間（田子）

➤ 10/5-6（土・日）薬と健康の週間 in 調布市商工まつり

⇒ 商工祭りに合わせて、薬と健康の習慣事業を開催した。今年は、街頭相談・健康被害に関するアンケート・おくすりクイズ・子ども調剤を行った。街頭相談は杏林大学の清水先生にご協力いただいた。休日にもかかわらず多くの先生方にご参加いただきました。有難うございました。

⇒ 田子先生が企画立案および準備の段階から積極的に動いてくれた。参加者からは感想は全て大好評であった。当日の写真を見ながら石川先生が補足説明。（石川）

8. 学術（平山・浅見）

➤ 10/5（土） 第二回調布市薬剤師会学術講演会

⇒ 薬剤師の加藤先生ご講演。参加者がいつもの調布市・狛江市・府中市薬剤師会以外にも、医師、歯科医師、行政、学生、大田区薬剤師会、CTN 関係者とかなり幅広く色んな職種の方々にご参加いただいた。今、都薬報告やシール発行などの処理をしているところ。

➤ 11/12（火） 第19回調布東山病院薬薬連携勉強会（機能強化事業Ⅱa申請）

⇒ 東山病院の勉強会も募集中。機能強化事業を申請中。

9. 学校薬剤師（林）

➤ 10/31（木） 令和6年度第2回学薬ミーティング

⇒ 小幡先生に最近の薬物乱用についての講演を依頼。

➤ 10/31（木） 全国学校保健調査〆切

➤ 11/7（木） 学校保健会役員会

⇒ 林先生・伊東先生・村山先生参加予定

➤ 11/7（木） 調布市功労賞受賞者 5名

（筒井眞由美先生，古澤夕貴先生，三井靖子先生，布施川留美子先生，原久美子先生）

➤ 照度計と検知管調査終了

⇒ 出揃ったので、交換の必要があるところから順次交換していきたい。

10. 三師会名簿交換会・新年会（三井）

➤ 進捗状況

⇒ 新年会は中国料理 渝園を予約済み。来賓は石川先生選定。司会は臼木先生と布瀬川先生。

ゲーム内容未定、ビンゴを予定しているが他にあればLINEワークスに投稿してほしい。

多くの方に参加してもらいたいので、自治指導の時に声掛けをお願いしたい。新年会事務局担当は高畑さん。招待状、会員案内、景品手配など願います。

⇒ 三師会名簿交換会の今年の担当がCPAとなっている。準備は、三井先生、石川先生、事務局西原さん。司会は平山先生をお願いした。二次会のモンテも予約した。

11. 新事務員採用（石川）

➤ 進捗状況

⇒ ハローワーク募集、日野市在住の方、遠すぎるのでお断り。

⇒ エンゲージ募集、稲城市在住の方、現在履歴書待ち。

⇒ 時給を上げてもなかなか人が集まらず苦戦中。

12. その他報告事項

➤ 医療保険地区指導者研修会の時にした質問の回答

⇒ A: 選定療養費、無保険かつ公費に自立支援・精神医療の方、児童福祉施設入所者は、選定医療対象外。医療保険の加入者のみ選定療養の対象。

➤ 9/26（木）調布市認知症連携協議（布瀬川）

⇒ 調布市認知症連携会議で認知症の患者の徘徊について意見をもらってほしいとのこと。ココセコム・エアタグ・追跡機能付きシューズなど案が出たがどれも採用とならなかった。徘徊する認知症患者を追跡するシステムで何かいいものがあったら教えてもらいたい。

➤ みどり薬局閉店に伴う代わりの休日調剤薬局について

⇒ 市内非会員のみどり薬局が閉店することになり、隣の医院から医師会経由で 12/15 代替の休日薬局開局依頼があった。同じ仙川地区の花の香薬局に開局してもらうことになった。

➤ 調剤ミスの連絡

⇒市民から CPA 事務所へ某薬局でもらった薬の用量についての問合せがあった。サワシリン錠の調剤ミスで常用量の 100 倍以上もの量が患者さんの手に渡ってしまったとのこと。事務所から当該薬局に電話して、至急対応してもらうことになった。服用前に気づいたため、健康被害はなかった。

➤ マッチングの対応

⇒市民からの問合せ。日頃東山病院に通院されている患者。具合が悪く、訪問診療となったが、処方箋が出ても薬局に行けず、CPA に対応を求める相談電話があった。担当の平山先生が公休日だったので、石川先生が対応。

☆ 市民の方々が困った時に CPA を頼ってくれるというのはよいことなのではないか。今後も市民の方に寄り添った対応をしていきたい。

≪協議事項≫

1. 選定療養費について

⇒ 始まってまだ 2 週間程度だが理事の皆さんの薬局ではどうか

○ 小児科門前でヒルドイドローションを扱っているが、ジェネリックと使用感が異なる。この場合、医療上必要ではないので先発希望患者からは選定療養費を頂くことになる。しかしジェネリックだとヒルドイドローション 25g に相当する規格がないため、125g 処方の場合には先発でも選定療養費の対象とはならない。以前は 25g 単位の処方ではなかったので、先発で調剤してくださいというドクターの暗黙のメッセージなのだと思う。

○ パリエットの処方で「先発と後発で薬事上の効能に差異が認められるので先発」とコメン

トがあったが、調べたら差異はなかった。疑義照会したところコメント自体が削除となった。現時点でのルールでは処方箋への理由の記載は必須ではない。理由不明のまま先発で調剤することになりもやもや感があった。

- 某小児科が選定療養制度が始まる 10 月前に患者にアンケートを取ったという話を聞いた。
- 処方箋への記載ではなく、別紙ホチキスとめの書面に先発から後発には変更しないようにとの記載があった。患者に先発調剤だと選定療養費のため費用が今までより高くなることを説明したら、ジェネリックで良いというので結局ジェネリックを出した。
- 先発希望の方に先発を出したが、処方量が多く選定療養費のため支払額が高額になってしまい、患者が驚いてしまった。
- 先発希望された方にジェネリックだったらいくらになるのか、など後から言われると、計算を 2 回、調剤も 2 回、時間がかかって大変なことになっている。
- 薬局在庫がない場合やドクター指示がある場合は選定療養費を取らないルールになっているので、あの薬局に行くと安くなる、あるいはドクターに変更不可と書いてもらえばいいのでは、と今後患者側に悪知恵がついてくるのかもしれない。
- 先発希望の患者とジェネリック希望のドクターの狭間に立った時がつらい。
- ジェネリックは嫌だとかねた患者にドクターが「ジェネリックでも大丈夫ですよ」と一言声掛けするだけですんなり納得する方が何人もいて、ドクターの声かけは大事だと痛感した。
- 生保患者はジェネリックで調剤するのが基本だが、仮に患者希望で先発品を調剤しても選定療養費が発生しない。当然ジェネリックで調剤しようとするが、強固に先発希望の生保患者でトラブルの予兆がある場合、門前のドクターと話し合っただけで処方箋に先発指示を記載してもらおうよう取り決めしている患者もいる。

- 先発希望なのかジェネリックでいいのか、処方箋に☑いれるわけでもなくメモ書き程度に記載されると指示が不明確でわかりづらい。
- 先発とジェネリックの価格差が 10 銭しかなかった場合、今まではどちらを選んでも同額であったが、10 月以降は先発を選ぶと選定療養費が 1 日 1 点となり日数が増えると費用が高む。
- これを機に先発からジェネリックに変更するという患者が増えた。

2. R7.3.9 調布医学会

⇒ 前回は昨年の商工まつりのアンケート結果を元にサプリメントに関する発表を行ったが、紅麴の事件前だったので、反応が薄かった。多職種が参加するので在宅関連の発表が反応が良いと思われる。近日中に会員に募集要項を周知予定。